

教育プログラムの概要及び採択理由

機 関 名	長崎大学	申請分野(系)	人社系
教育プログラムの名称	新興金融市場分析の専門家育成プログラム		
主たる研究科・専攻名	経済学研究科経済経営政策専攻		
(他の大学と共同申請する場合の大学名、研究科専攻名)			
取 組 実 施 担 当 者	(代表者) 須齋 正幸		
<p>【教育プログラムの概要】</p> <p>【プログラムの目的】 本プログラムでは、本専攻経営学修士(MBA)コースにファイナンスコースを新設して、ファンドマネジャーやアナリストなど、<u>アジアを中心とする新興金融市場で活躍する高度専門職業人を育成する</u>。本プログラムが育成する人材は実践的ビジネスパーソンであるため、その目的から博士前期課程を対象とする。</p> <p>【プログラムの基本構想】 上記のような人材を育成する背景として、アジア金融市場の急激な拡大が挙げられる。上海市場が規模において2007年に対前年比で300%を越える伸び率を示すなど、東京を含めた東アジア市場の規模は、全世界の20%を占めるほどになっている。この市場規模の急激な拡大に比して、アジアの金融市場で活躍する人材の供給はそれに追いついてはいない。また、急激に成長する新興金融市場では、取引に関わる法規や規制が毎年のように改正されている。このように変化の激しい市場を分析するためには、<u>実際に現場に赴いて情報を収集し、制度やルールを適切に反映した仮説の構築が必要となる</u>。</p> <p>他方、本学がこれまで3度に亘り開催してきた国際カンファレンスを通じて培ってきた<u>西南财经大学、上海财经大学や复旦大学</u>など東アジアに位置する大学、現在共同研究を実施している<u>東京証券取引所</u>との緊密な交流ネットワークは他大学に類を見ない。プログラム実施に当たっては、これらの機関の協力を得ながら<u>アジア金融市場の現場で研究経験を積むためのフィールドを提供する</u>。また、科学研究費補助金の採択件数が財政・金融分野で全国3位という実績から明らかなように、ファイナンス分野で国内最高水準の教育研究能力を持つスタッフを生かしたカリキュラムを構築する。</p> <p>これら社会のニーズと本学の教育研究資源を活用することでファイナンス分野における有為な人材を育成し、アジア金融市場の発展に資する人的基盤を提供する。本プログラムで育成される人材は、これまでのわれわれの交流経験から、東京証券取引所を始め多くの金融機関で渴望されている。</p> <p>なお、本プログラムでは、金融分野に高い関心を有する一般学生や企業からの派遣学生を国内外から広く受け入れる。特に、本学との交流実績のある大学からの留学生を積極的に受け入れる。</p> <p>【プログラムの特徴】 本プログラムでは</p> <p>(1) 変化の激しいアジア市場で、適切な情報を収集し、目的に整合的な仮説を構築する実践的能力 (2) ファイナンスの理論やデータ解析に関わる高度な分析能力 (3) 国際的なビジネスの現場における議論や交渉に不可欠なコミュニケーション能力を涵養するカリキュラムを構築する。具体的には、</p> <p>(1) 情報収集・仮説構築能力の涵養：交流実績のある東アジアの大学に学生を派遣し、東アジアの市場で実際に市場参加者へのヒアリングによる情報収集やそれに基づく仮説構築を行う「<u>海外フィールド研究</u>」を実施する。また、情報整備が進む東京市場においても同様の機会を提供するため、本学と研究における連携実績のある<u>東京証券取引所</u>でインターンシップを実施する。その成果を、复旦大学を始めアジアを中心にファイナンスの一流の研究者が参加する国際カンファレンスにおいて報告させることで、教育成果の質を保証する。</p> <p>(2) 高度な分析能力の涵養：国内最高水準の教育研究能力を持つファイナンス分野を始め、広範な分野にわたる教育スタッフを活用して、ファイナンス、データ解析、会計学などを分野横断的に再構築し、アジア市場の分析に焦点を当てたコース科目「<u>アジア市場分析Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ</u>」を新設する。</p> <p>(3) コミュニケーション能力の涵養：海外の大学から世界一流の研究者を招聘して「<u>アジア市場分析Ⅰ</u>」を開講し、全ての新設科目を英語で講義するほか、国際カンファレンスによる報告、海外留学を通じてディスカッション、プレゼンテーションの能力を育成する。</p>			

長崎大学：新興金融市場分析の専門家育成プログラム

履修プロセスの概念図 (履修指導及び研究指導のプロセスについて全体像と特徴がわかるように図示してください。)

新興金融市場分析の専門家育成プログラム

国際舞台で活躍しうるファイナンスの専門家を志す多様な学生

日本人学生・留学生・日本およびアジア地域でビジネスに従事する社会人など

長崎大学大学院経済学研究科MBA (ファイナンスコース)

第1年次

講義 演習	ベーシック科目	コース科目
	リサーチメソッド	テーマサーベイ

第2年次

プロジェクトスタディ

プログラム

実践的な研究課題設定の支援
 …「アジア市場分析I」(コース科目)
 専門的なコミュニケーション能力の育成
 …「英語による講義と研究指導」
 学際的な研究能力の育成
 …「アジア市場分析II」(コース科目)

実践的な分析能力の育成
 …「アジア市場分析III」(コース科目)
 国際舞台での実践力養成
 …「東証インターンシップ」
 …「海外フィールド研究」
 国際的情報発信能力の強化

支援体制

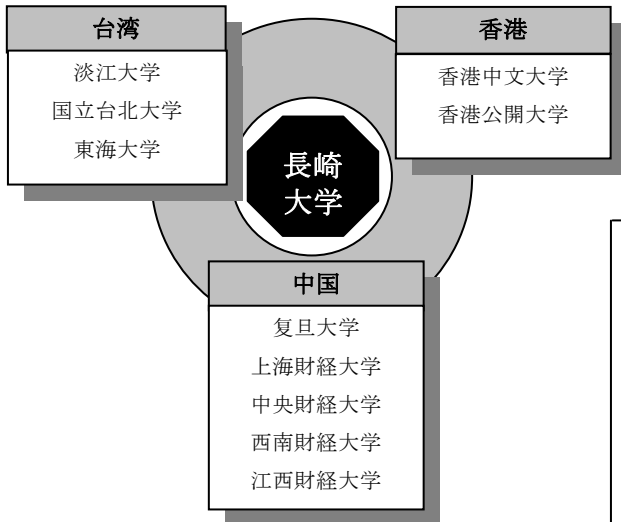
- 国内・海外教員連携による研究指導体制
- 英語ネイティブチューターの配置
- 英語による研究指導・講義の強化

- 国内・海外教員連携による研究指導体制
- ネットワークを活用した遠隔研究指導の導入
- 英語による修士論文作成指導

連携・協力

全面的支援

大学間ネットワーク



外部機関

東京証券取引所

- 市場の変動要因を解明するために必要な情報を収集・適切な仮説を構築する実践的能力
- ファイナンス理論やデータ解析などの金融市場分析に必要とされる高度な分析能力
- 世界各国の専門家と議論や交渉を行う高いコミュニケーション能力

高度専門職業人の輩出

国内外の金融機関でアジアを主な対象とする国際金融専門家
 企業や機関投資家のファンドマネジャーやアナリストなど

<採択理由>

教育プログラムについて、社会的なファイナンス人材の需要の高まりに対応し、経営学修士コースにおいて「アジアを中心とする新興金融市場で活躍する高度専門職業人」を育成するという目的が明確であり、アジアの特殊性と一般性との間でのカリキュラム上の工夫が見られ、フィールド研究やファイナンスコース科目の充実等の周到な準備の下でよく練られた社会的意義を持つ取組として評価できる。また、英語指導を行うネイティブのチューターの配置をはじめとする修学上の支援体制の充実など、教育プログラムの実効性を高めるための工夫が図られている点も優れている。更に、本教育プログラムの大学全体の中での位置付けも明確であり、支援期間終了後の自主的・恒常的展開が期待される。ただし、基礎的知識及び手法の習得については、開講科目等の更なる工夫が望まれる。